

電動昇降チルトデスク BHD-1100FAC 取扱説明書

※小さなお子様のご使用になる場合は※
保護者の方が当取扱説明書をよくお読みになり、使用中はお子様につき添ってください。

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をご使用の際は必ず本書をお読みいただき、ご理解の上、正しくご使用ください。また、お読みいただいた後も、この説明書は大切に保管してください。

本製品はデスクとして使用されることを目的としています。それ以外の目的で使用しないでください。

FOR USE IN JAPAN ONLY

使用者は、必ずこの取扱説明書の内容を理解してからご使用下さい。

Read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.

品質表示

型番	BHD-1100FAC
外形寸法	幅 110cm × 奥行 52cm × 高さ 69.5cm (69.5~111.5cm/キヤスター時:74.5~116.5cm)
甲板の表面材	合成樹脂化粧パーティクルボード (メラミン樹脂)
表面加工	エポキシ樹脂塗装
原産国	中国
耐荷重	50 kg



警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。

- 製品の分解や改造、修理は絶対におやめください。思わぬ事故やけがの原因となり大変危険です。
- 本製品の内部または付近で火気を使用しないでください。火災の原因となるおそれがあります。
- 本製品は部屋の出入りを妨げる場所や、緊急時の避難を妨げる場所に設置しないでください。
- 本製品の連続昇降動作可能時間は2分間です。2分を超えて連続動作させないでください。誤って連続動作させた場合は、安全のためその後18分間は動作させないでください。モーターが過熱し、発火や故障の原因となります。
- 本製品にはガスが充填されている部品が使用されています。

以下の行為は重大な事故につながるため、絶対におやめください。

- ガスシリンダーの分解および改造
- ガスシリンダーに傷をつけたり、破損したりするような衝撃を与えること
- 火気の中への投入
- 火気のそばでの使用
- 屋外での使用
- 高温になる場所や直射日光が当たる場所に長時間放置



注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

組み立てのご注意

- 電源プラグは組み立て途中でコンセントに接続しないでください。思わぬ事故やけがの原因となるおそれがあります。
- 組み立てる前に各部品に不足や不備がないかご確認ください。不足や不備があった場合は直ちに組み立てを中止してください。
- 組み立ておよび設置は大人2人以上で行ってください。

- けがや汚れを防止するため、必ず手袋を着用して組み立ておよび設置を行ってください。
- 組み立て時は周囲に何もない平らで広い場所で行ってください。
- 組み立て時は、床や壁、他の家具の傷を防止するために敷物を敷いてください。
- ボルトの取り付け前に、ボルト穴の異物をきれいに取り除いてください。
- ボルトは最初からきつく締めないでください。まず全てのボルトを仮締めし、きちんと組み合わさったことを確認してから、最後にしっかりとボルトを固定してください。
- 製品の使用前に、各部品がしっかりと固定されていることをご確認ください。
- 全てのパーツを正しく取り付け使用してください。
- プラスドライバーをご用意ください。

使用上のご注意

- 電源をコンセントに繋ぐ前に、電圧が正常で、本製品の電源要件（AC100～240V、周波数 50/60Hz）を満たしているか確認してください。
- 本製品のいずれかの部品にひび、破損などの異常が生じた場合は直ちに使用を中止してください。けがをするおそれがあります。
- 製品は床面が平らで、強度が十分な場所に設置・使用してください。不安定な場所で使用すると、転倒や破損の原因となり、けがをするおそれがあります。
- 本製品は電気により駆動します。本体が濡れたり、異音や異臭等の異常が発生したりした場合は、直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災が発生するおそれがあり大変危険です。
- ACアダプターに記載された電圧以外では使用しないでください。感電や火災が発生するおそれがあり大変危険です。
- タコ足配線はおやめください。火災の原因となる可能性があります。
- 付属の電源ケーブル以外のご使用はおやめください。火災や感電のおそれがあり大変危険です。
- 電源ケーブルに破損や異常が認められた場合は、直ちに使用を中止してください。火災や感電のおそれがあり大変危険です。
- 製品の上に立ち上がったり、踏み台代わりに使用しないでください。転倒してけがをするおそれがあります。
- 天板の上に、加熱した鍋や湯沸かし、熱い湯呑などを直接置かないでください。熱いものを置く際は、必ずコースター等をご使用ください。変色や変形の原因となります。
- 濡れたものを載せないでください。破損や劣化、サビの原因となるおそれがあります。
- 耐荷重を超える荷重は加えないでください。転倒または破損の原因となり、けがをするおそれがあります。
- 天板に過度な荷重をかけたり、脚部の真上に集中して荷重をかけたりしないでください。急に天板が下がり、破損やけがをするおそれがあります。
- 強く引っ張ったり、無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。
- 天板に物を載せる場合は天板からはみ出さないようにしてください。転倒または落下物によりけがをするおそれがあります。
- 天板の高さの調整は、11ページの機能説明をよくお読みの上で行ってください。
- 本製品を動作させる際は、付近に人やペットがいないこと、動作に干渉する家具等がないことを必ず確認してください。可動箇所には挟まれてけがをしたり、製品とぶつかって物が倒れるおそれがあり大変危険です。
- 本製品に搭載されている「衝突検知機能」はオフにしないでください。衝突検知機能をオフにすると、障害物があった際に停止せず、デスクが転倒したり周辺の家具等を破壊する恐れがあり大変危険です。
- 昇降を行う際は、手や指を挟まないように十分ご注意ください。けがをするおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、コントローラーに触れたりしないでください。感電するおそれがあり大変危険です。
- 水回りの近くなど、湿気が溜まりやすい場所での使用はおやめください。製品の劣化や故障の原因となるおそれがあります。
- 電源およびコントローラーのケーブルを引っ張ったり、結んだりしないでください。断線・破損して感電や火災の原因となるおそれがあります。
- 昇降する際は、コントローラーのボタンを複数同時に押さないでください。製品が破損したり予期せぬ動きでけがをするおそれがあります。
- 天板の上に物を置いたまま昇降や傾斜を行う場合は、天板に置いたものが落下しないよう注意と対策をしてください。
- 製品特性上、昇降部分などの可動箇所は傷が発生するおそれがあります。予めご了承ください。
- 長時間同じ場所で使用すると、接地面が変形・変色する場合があります。必要に応じて保護シート等を使用してください。

- 本製品を移動させる際は、天板を水平にした状態で大人2人以上で移動させてください。1人で移動させると、思わぬ事故やけがの原因となるおそれがあります。
- キャスターを使って本製品を移動させる際は、天板の上に不安定な物や液体等を載せたまま移動させないでください。落下物によりけがをしたり、転倒して破損や汚損したりするおそれがあります。
- キャスターを使わずに本製品を移動させる際は引きずったり、落としたりしないでください。破損や床面に傷がついたり、けがをするおそれがあります。
- キャスターを使わずに本製品を移動させる際は天板に物を載せたまま移動させないでください。破損または落下物によりけがをするおそれがあります。
- 本製品を移動させる際以外は、必ずキャスターをロックしてください。地震やぶつかった衝撃等で不意に移動し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本製品を移動させる際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。ケーブルの破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 防虫および殺虫剤、消臭剤や除菌剤などは直接製品に散布しないでください。劣化や変色の原因となるおそれがあります。
- 下記のような場所での使用はおやめください。劣化や色あせ、カビなどが発生するおそれがあります。
 - 直射日光に長時間さらされる場所
 - 冷暖房器具の熱や風が直接あたる場所
 - 高温多湿な場所
- 乳幼児用の椅子をデスクに取り付けしないでください。デスクごと転倒し、けがをするおそれがあります。

■ メンテナンス・廃棄方法

- 本製品を廃棄の際は、各地方自治体の廃棄区分に従って廃棄してください。
- 各パーツに破損や異常がないか、定期的に製品全体を点検してください。破損や異常が認められた場合は直ちに使用を中止してください。
- ボルト・ネジや各パーツに緩みがないか、定期的に製品全体を点検してください。緩みがある場合は、しっかりと固定し直してください。
- 電源プラグ周辺はほこりが溜まらないよう定期的に清掃してください。ほこりが溜まったまま放置すると、火災の原因となる可能性があります。
- 本製品が濡れたり湿ったりした場合は、直ちに水分を乾いた布で十分に拭き取り、風通しの良い日陰でよく乾かしてください。濡れたまま放置しておくと、サビや臭気の原因となります。

【製品のお手入れ方法】

- 本製品を清掃する際はアルコール、ベンジン、磨き粉などは使用しないでください。変色や変形の原因となります。
- 本製品を清掃する際は柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本製品を水拭きする場合は固く絞った柔らかい布で拭き上げ、直射日光が当たらない風通しの良い場所で十分に乾燥させてください。湿気が残っていると、劣化やサビの原因となります。

■ ホルムアルデヒドについて

● ホルムアルデヒドとは

シックハウス症候群を引き起こす原因物質の一つといわれています。常温で気化し、無色で刺激臭があるのが特徴です。主に家具や建材に使用される塗料や接着剤に含まれており、常温で気化するというその性質上、徐々に室内に放散され滞留します。

ホルムアルデヒドに汚染された室内に長時間滞在すると、目・鼻・喉への刺激や、咳やくしゃみといったアレルギー症状が現れることがあります。また、室内に滞留しているホルムアルデヒドの濃度が高い場合は、呼吸困難等の重篤な症状を引き起こすおそれがあります。

● 家具を設置する室内の換気について

アレルギー症状を発生しにくくするために、下記に記載する定期的な室内の換気を行ってください。

- ・製品の開梱及び組み立ては、風通しの良い十分換気できる部屋で行う。
- ・初めて使用になる前に、製品を設置した部屋の換気を十分に行う。
- ・製品を設置してからも、部屋を長時間締め切ったままにせず、こまめに部屋の換気を行う。

● アレルギー症状が疑われる場合

何らかのアレルギー症状が起きた際は、すみやかに医師にご相談されることをおすすめします。

● 化学物質に敏感な体質のお客様へ

ホルムアルデヒドをはじめとする化学物質の許容量には個人差があります。したがって、室内に滞留しているホルムアルデヒドの濃度が、健康上望ましいとされる濃度値以下の濃度であってもアレルギー症状が現れる可能性があります。

可能な限りホルムアルデヒドの放散が少ない材料を使用しておりますが、全く放散されないわけでありませんので、予めご注意ください。

■ 組立前にお読みください



注意

確実な組み立てのため、**ボルトを取り付ける際はまず手で回して取り付けてください。**
ボルト穴に正しいボルトが真っ直ぐ入ったことを確認し、全ての部品を組み合わせてから最後にレンチでしっかりと増し締めしてください。

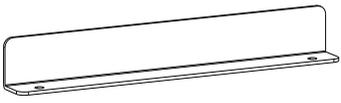
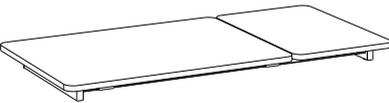
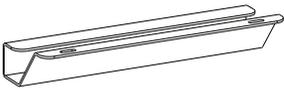
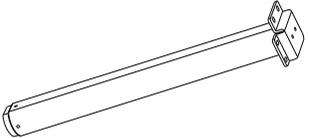
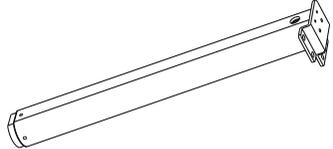
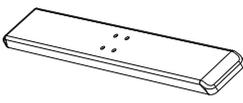
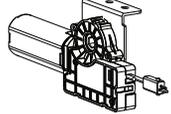
最初にきつくボルトを締めると、後から組み立てる部品においてボルトとボルト穴位置が合わなくなることがあります。

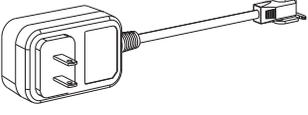
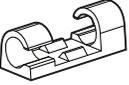
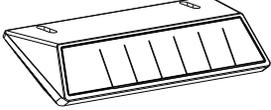
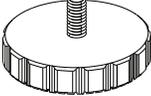
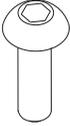
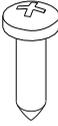
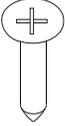
無理な力で斜めにねじ込むとボルト穴がつぶれボルトが入らなくなります。

また、誤ったボルトを使用すると製品が破損する場合があります。

※誤った組立方法にて製品が破損した場合は、製品保証の対象外となりますのでご注意ください。

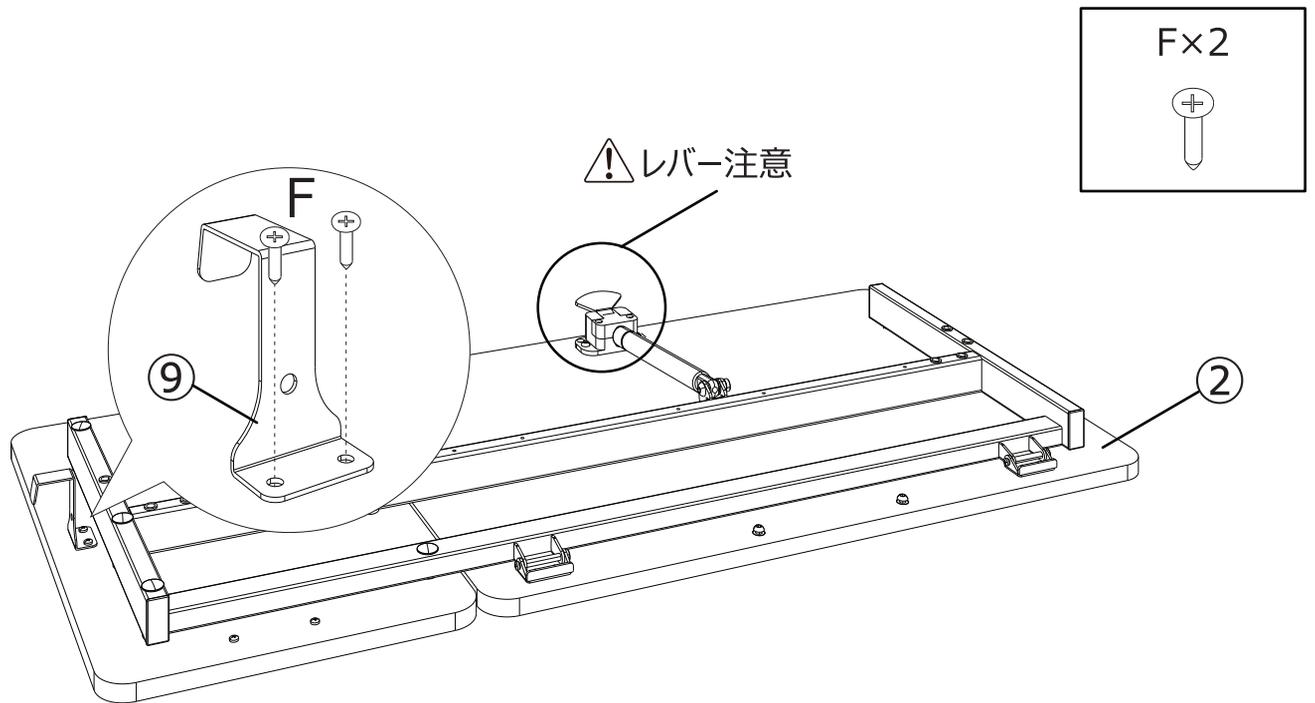
■ 部品・付属品

①	ストッパー	②	天板	③	駆動ロッド
					
	×2		×1		×1
④	ロッドカバー	⑤	左脚部	⑥	右脚部
					
	×3		×1		×1
⑦	足部	⑧	モーター	⑨	フック
					
	×2		×1		×1

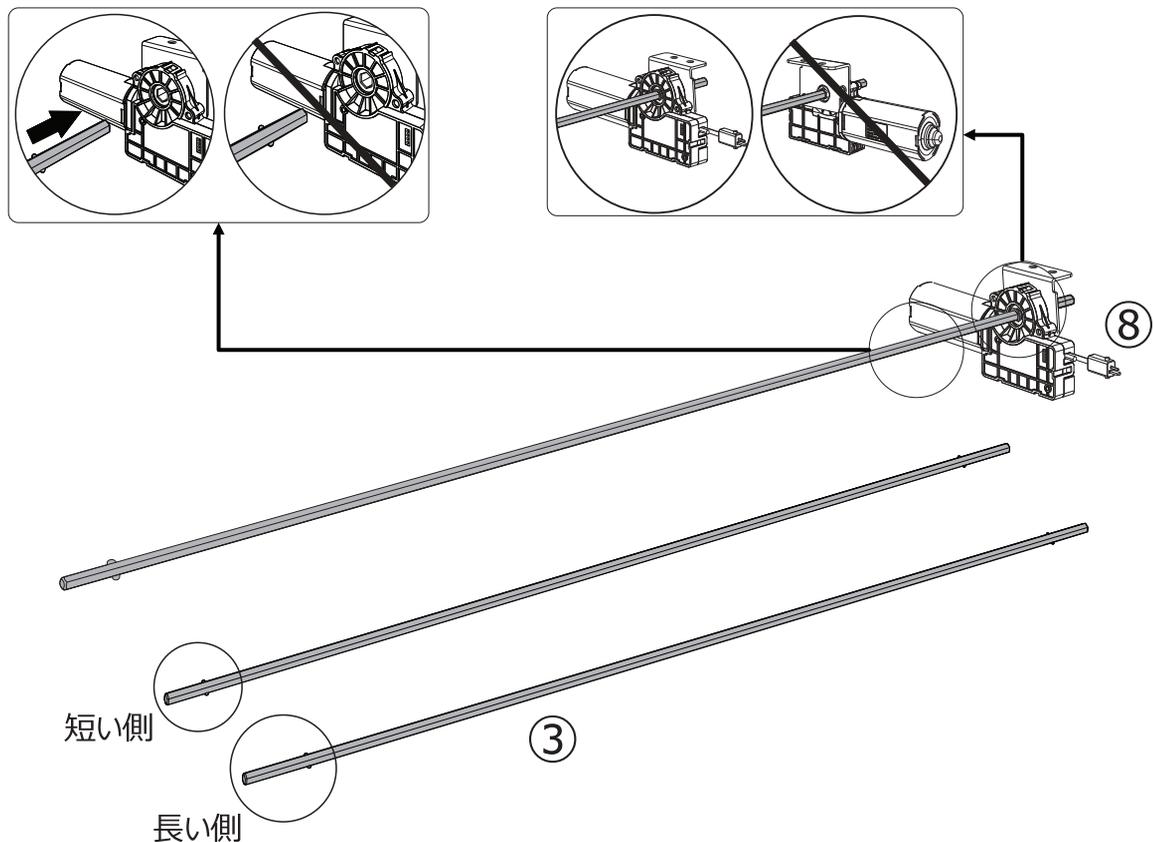
⑩	AC電源	⑪	ケーブルクリップ	⑫	コントローラー
 <p style="text-align: center;">×1</p>		 <p style="text-align: center;">×4</p>		 <p style="text-align: center;">×1</p>	
⑬	スクリュー M4×12mm	⑭	キャスター（ロック有、無） M8×14mm +レンチ	⑮	高さ調節ネジ M8×16mm
 <p style="text-align: center;">×4</p>		 <p style="text-align: center;">×2 ×2 ×1</p>		 <p style="text-align: center;">×4</p>	
A	六角レンチ+レンチ	B	ボルト (A) M5×10mm	C	ボルト (B) M6×30mm
 <p style="text-align: center;">×1</p>		 <p style="text-align: center;">×2</p>		 <p style="text-align: center;">×8</p>	
D	ボルト (C) M6×16mm	E	ネジ (A) ST4.2×15-16mm	F	ネジ (B) ST4.2×16mm
 <p style="text-align: center;">×8</p>		 <p style="text-align: center;">×2</p>		 <p style="text-align: center;">×2</p>	
G	ボルト (D) M4×6mm				
 <p style="text-align: center;">×6</p>					

■ 組み立て手順

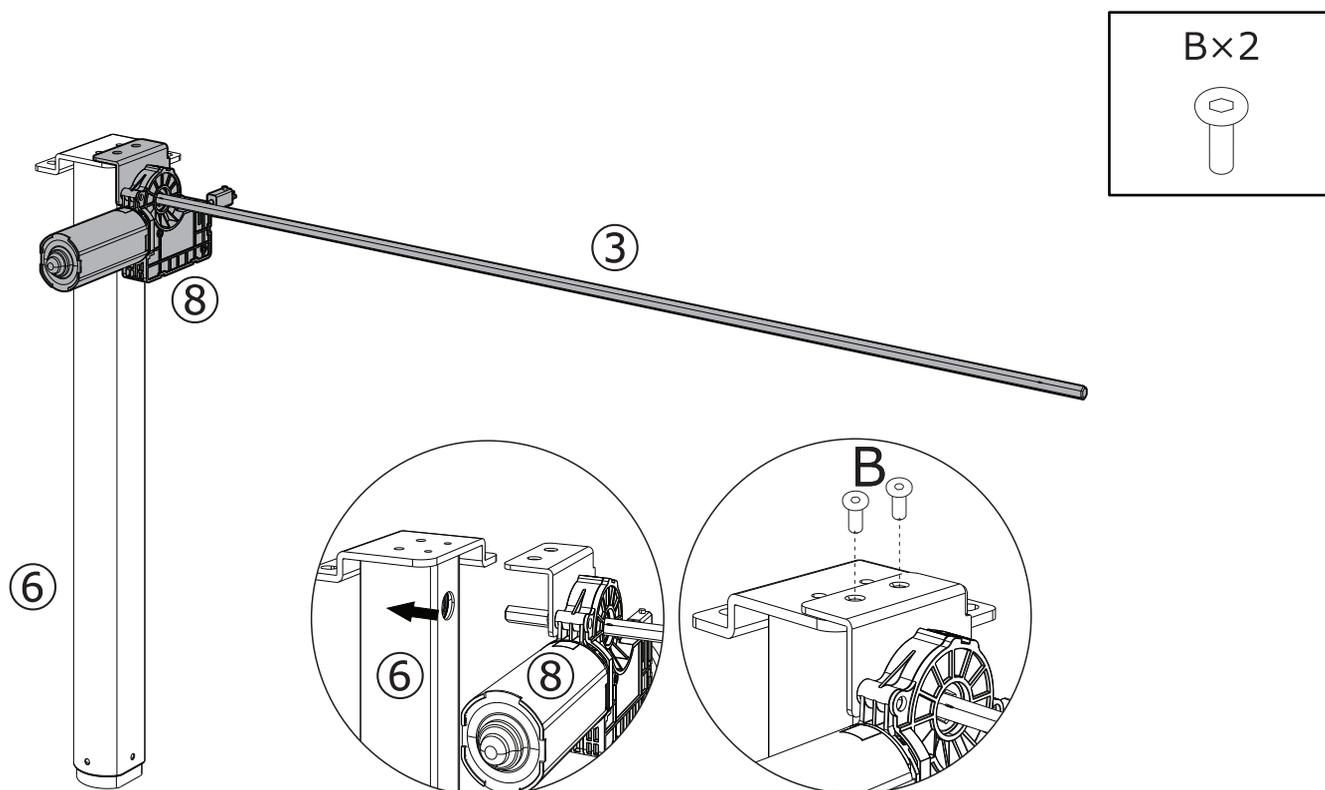
- 1 ⑨フックを(F) ネジで②天板の裏面にしっかりと固定してください。
※天板裏面にはチルト機能用のレバーがあります。組立工程時に誤って押したり、搦んだりしないよう注意してください。



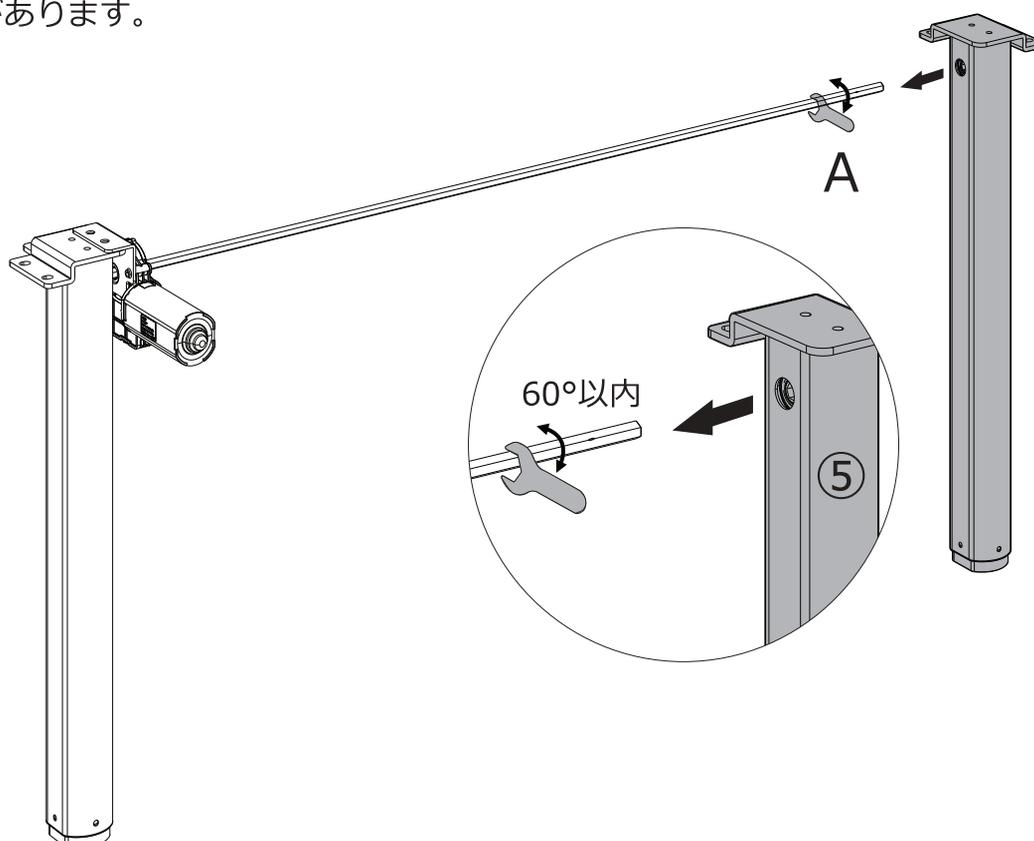
- 2 ③駆動ロッドを⑧モーターに挿入します。この際、③駆動ロッドの両端側にある突起から先端までの距離が長い方の端を、⑧モーターの向きに注意しながら差し込んでください。



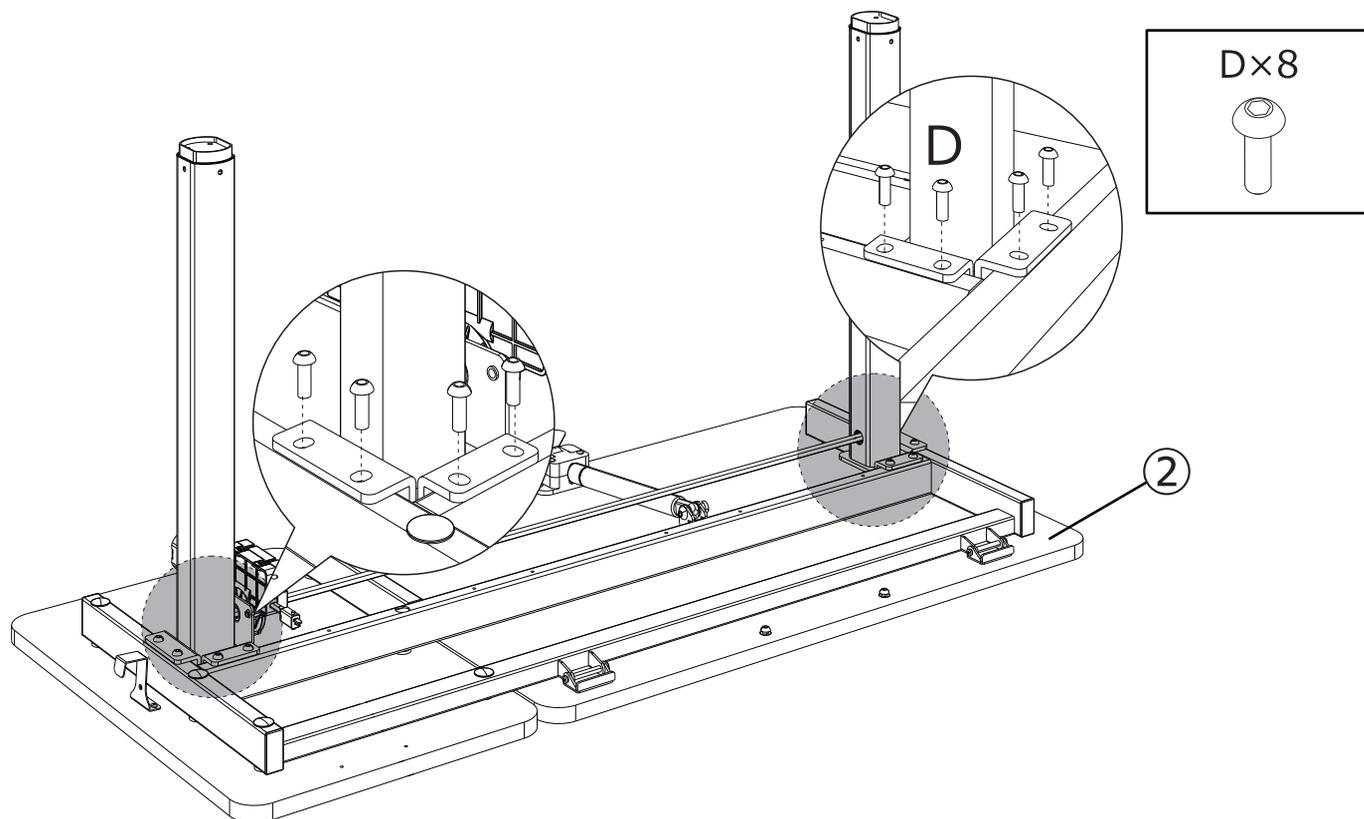
3 ⑧モーターの向きに注意しながら(B)ボルトで⑥右脚部に固定してください。



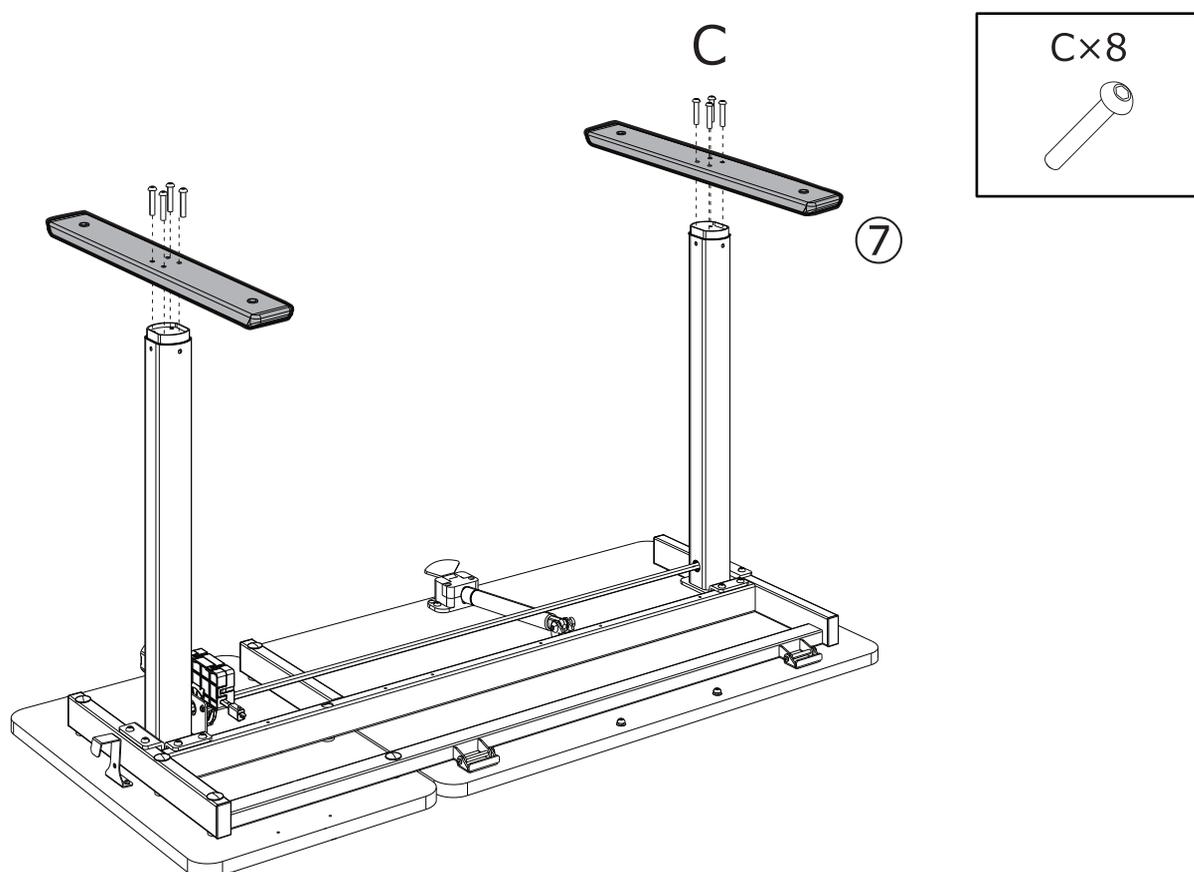
4 ③駆動ロッドのもう一方の端を⑤左脚部の穴の奥まで押し込んでください。押し込んだあと(A)レンチで駆動ロッドを回し駆動ロッドの突起かみ合わせて左脚部が抜けないようにします。
※駆動ロッドは60度以上回転させないように注意してください。昇降動作に問題が生じるおそれがあります。



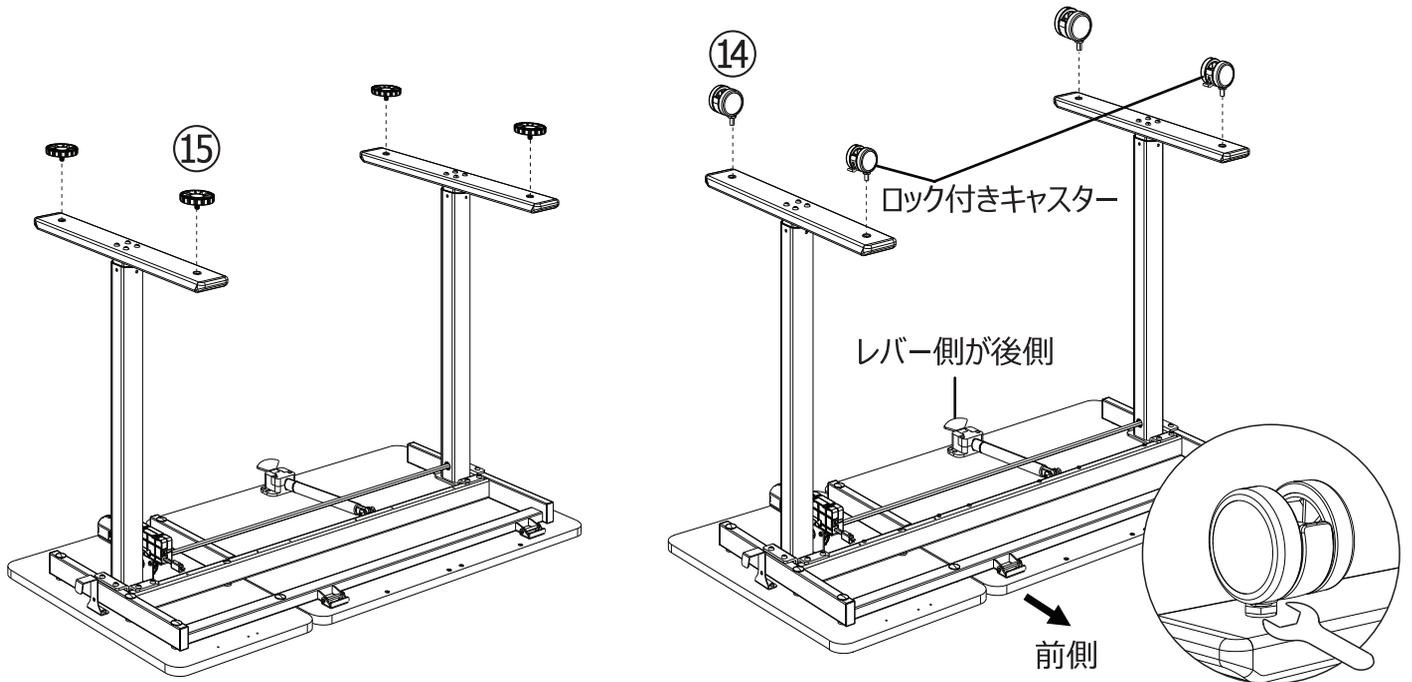
- 5 組み立てた脚部フレームを②天板に取り付けます。(D) ボルトを使用し、(A) 六角レンチでしっかりと固定してください。



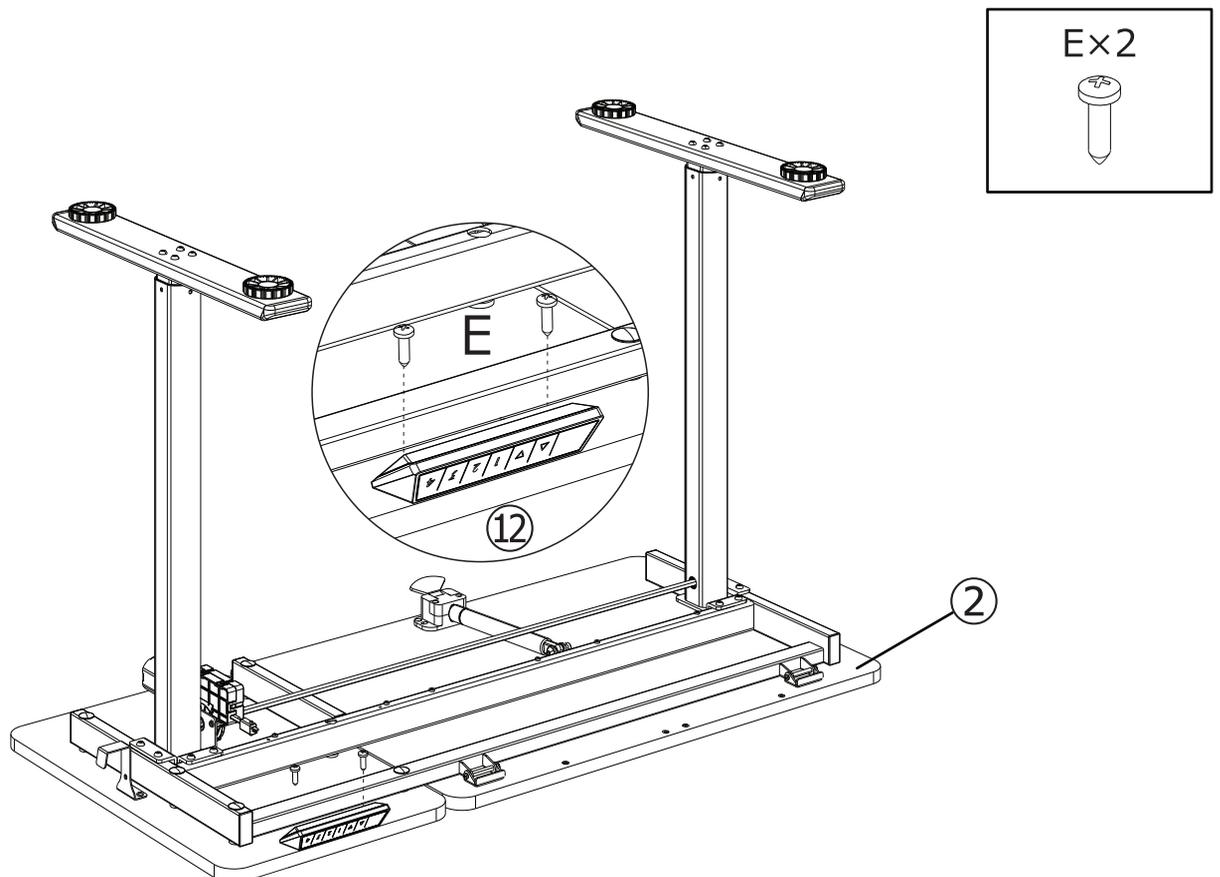
- 6 ⑦足部を左右の脚部に取り付け、(C) ボルトを使用して(A) 六角レンチでしっかりと固定してください。



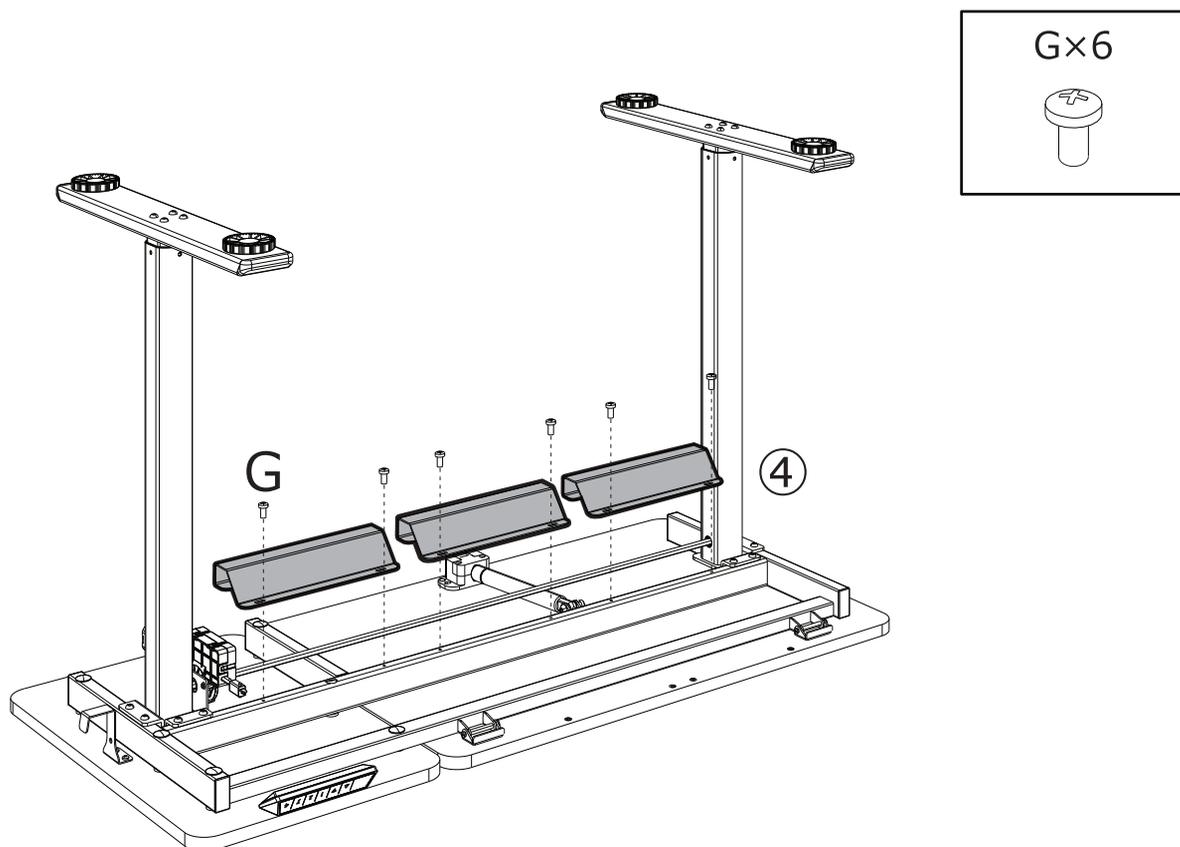
- 7 ⑦足部に⑮高さ調節ネジ、または⑭キャスターを取り付けます。キャスターはキャスター付属のレンチを使用して取り付けてください。
※⑭キャスターを使用する場合、ロック付きのキャスターが手前側に来るように取り付けてください。



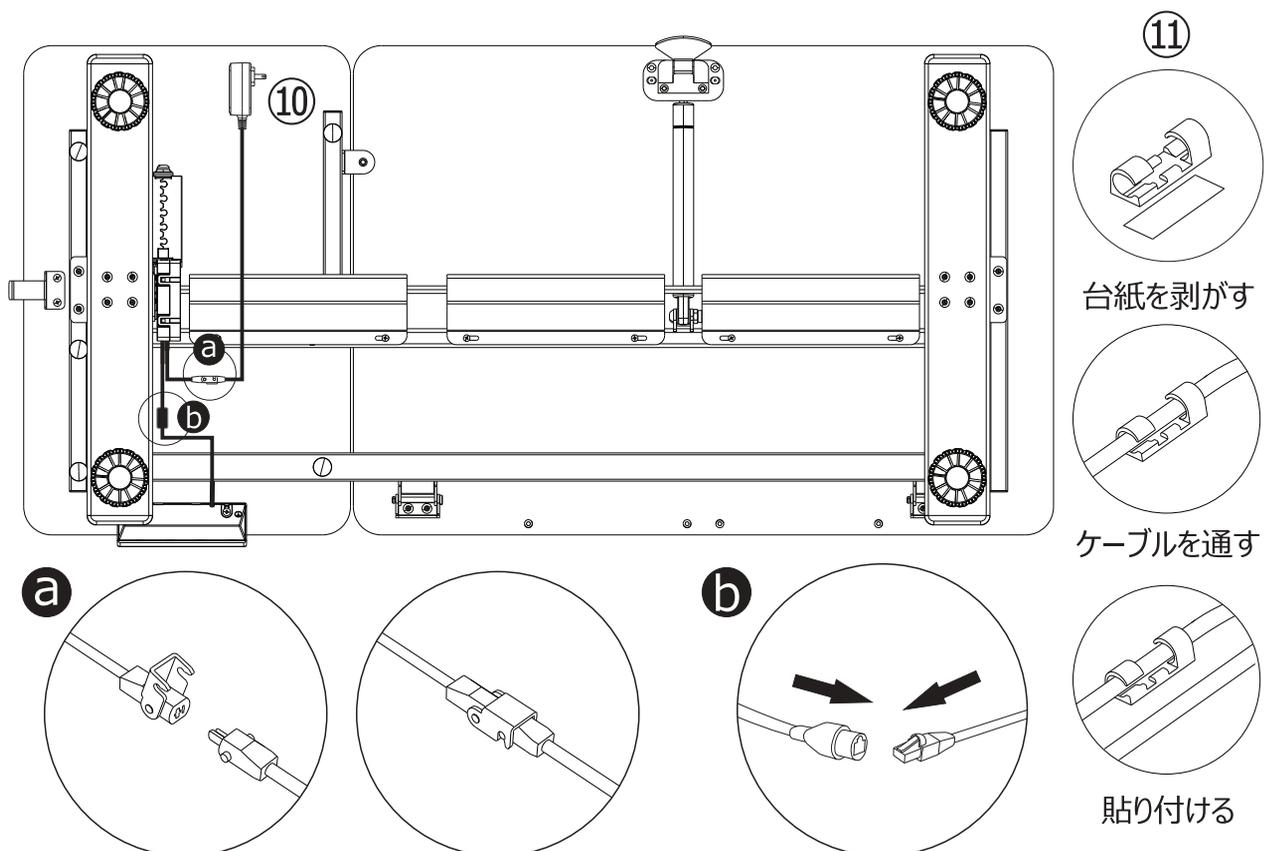
- 8 ⑫コントローラーを(E) ネジで②天板に固定してください。



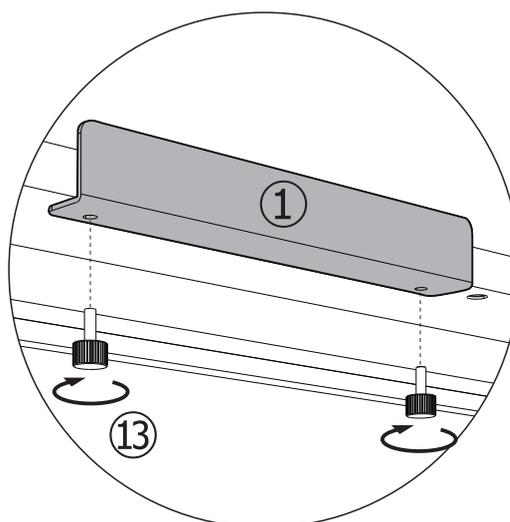
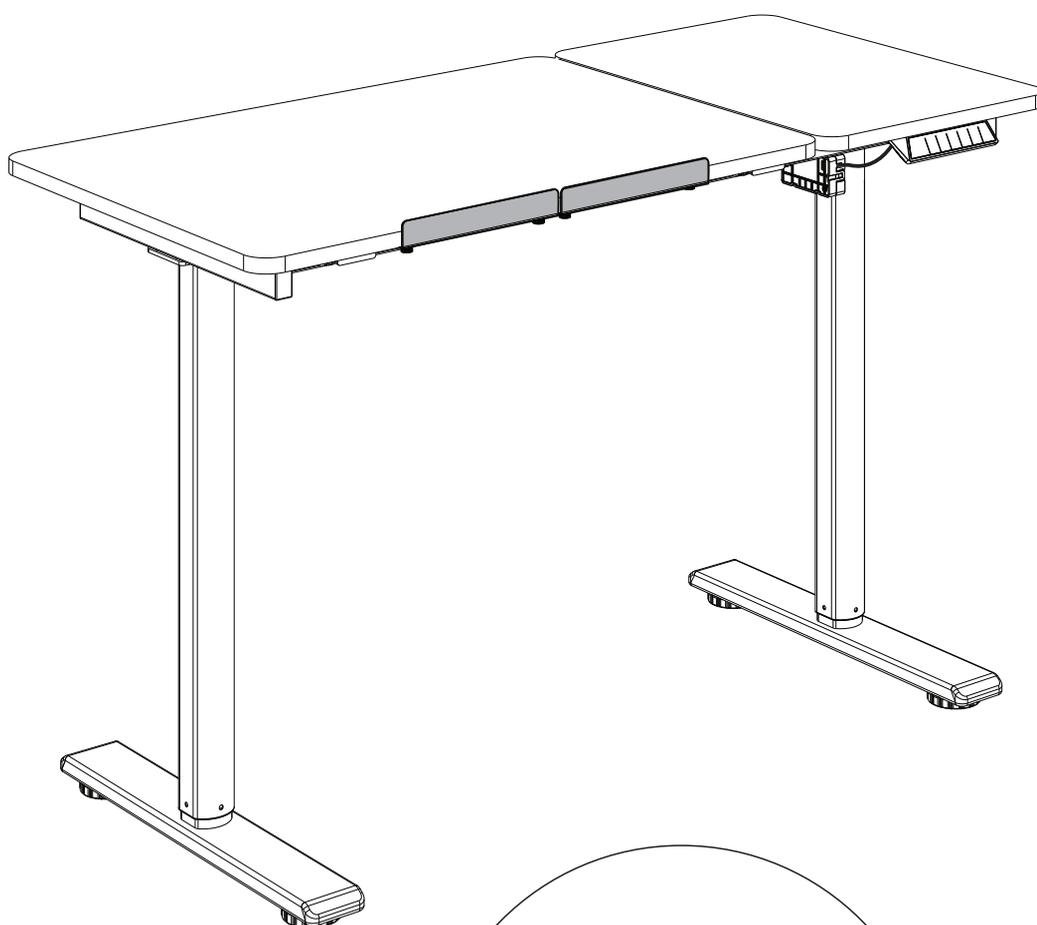
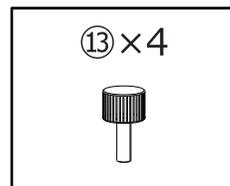
9 ④ロッドカバーを(G) ボルトを使用して取り付け、駆動部を保護してください。



10 ⑩AC電源コード、コントローラーのケーブルをモーターに接続し、お好みで⑪ケーブルクリップを使用して天板裏に配線を整理してください。



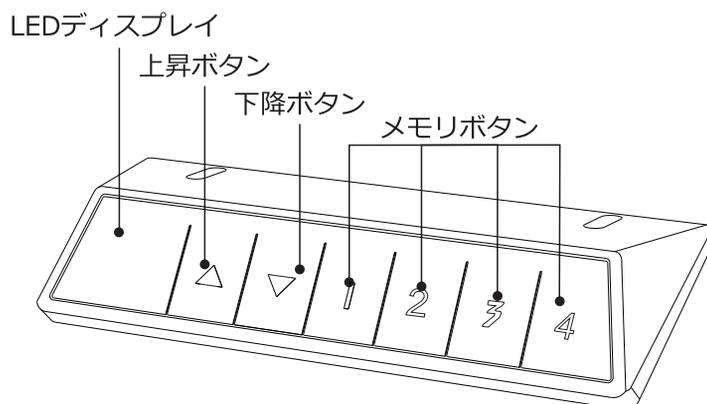
- 11** 製品を表替えします。この際、天板裏のレバーやコントローラーを掴まないよう注意してください。破損するおそれがあります。
表替えしたあと①ストッパーを⑬スクリューを使用して②天板の端に固定してください。電源をコンセントに繋がれば完成です。



機能説明

■コントローラーの使用方法

※天板の上に物を置いたまま昇降を行う場合は、天板に置いたものが落下しないよう注意してください。



- LEDディスプレイ：現在の高さやメモリが表示されます。
- 上昇ボタン：押し続けている間天板が上昇し続け、最高値に到達すると停止します。
- 下降ボタン：押し続けている間天板が下降し続け、最低値に到達すると停止します。
- メモリボタン：記憶させた任意の天板高を呼び出すことができます。

■リセット操作

使用前に一度リセット操作を行ってください。下降ボタンを長押しし、デスクが最下点（または最上点）まで移動し、反動で少し戻って停止するまでボタンを押し続けてください。ディスプレイに現在の高さの数字が表示されたら、ボタンを離してリセットを完了します。

■メモリボタンの設定・使用方法

1. 「上昇ボタン」・「下降ボタン」を押して、天板の高さをお好みの位置にします。
2. 高さを記憶させたいメモリボタン（1～4）の一つを3秒以上長押しします。
3. ディスプレイに「S-」と番号（例：S-1）が表示されたら、現在の位置が保存されます。
4. 記憶させた高さへ移動するには、対応するメモリボタン（1～4）を押してください。
デスクは自動的に保存された位置まで調整されます。



机の高さと椅子の座面の高さの関連性
<https://www.bauhutte.jp/bauhutte-life/tip2/>

■衝突検知機能の感度調整

本製品には、昇降中の天板が障害物に衝突した際に、傾きや電圧上昇を検知して昇降が自動で停止する「衝突検知機能」が搭載されています。本項目は、衝突検知機能の感度調整の方法を記載していますが、通常の使用範囲において感度を調整をする必要はありません。

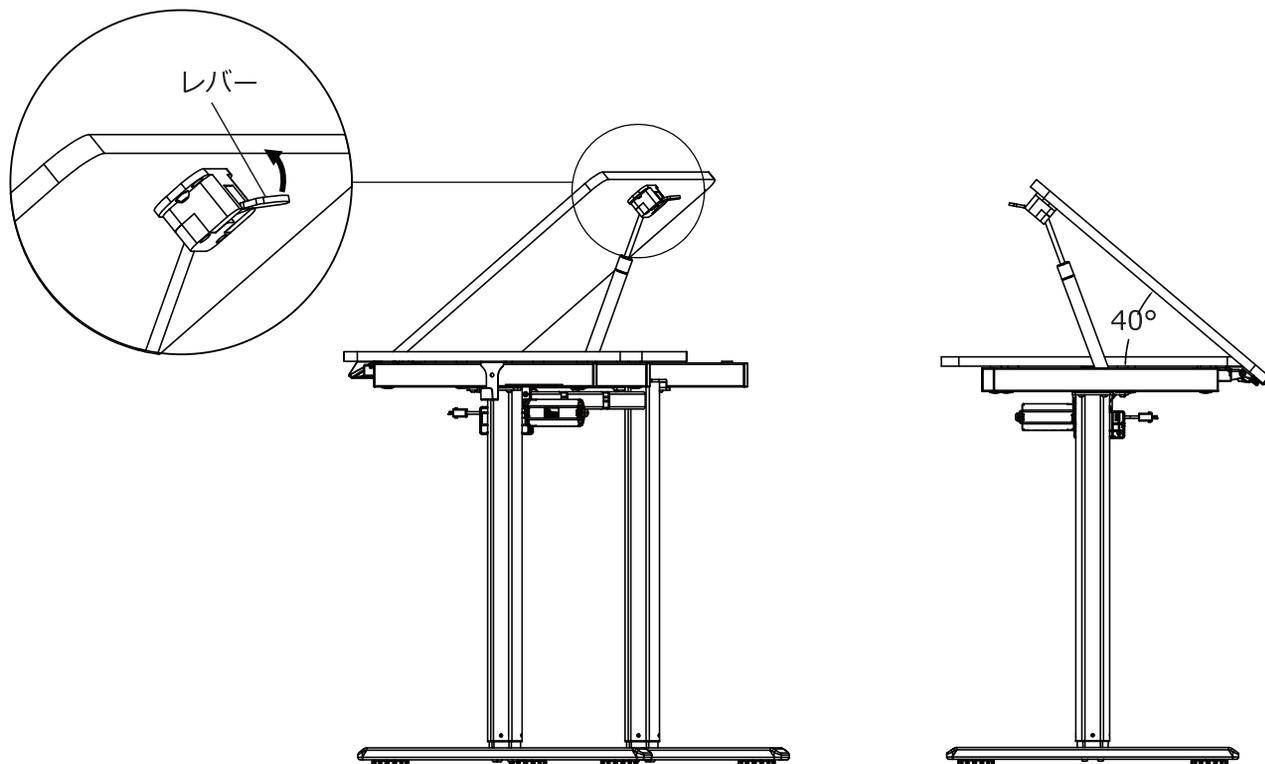
また、安全のため「衝突検知機能」は絶対にオフにしないでください。衝突検知機能をオフにすると、障害物があった際に停止せず、デスクが転倒したり周辺の家具等を破壊したりするおそれがあり大変危険です。

1. 上昇ボタンと下降ボタンを同時に3秒以上長押しします。操作ごとに感度が「A-0」（機能無効）、「A-1」（感度低）、「A-2」（感度中）、「A-3」（感度高）の順で切り替わります。

■チルト機能

天板奥側のレバーを引き上げることで、左側の天板を約40°まで自由に傾けることができます。レバーを戻すと任意の位置で止まります。

※安全のため、天板上の物が落下しないようあらかじめ対策を行ってください。



■トラブルシューティング

■LEDディスプレイに文字が表示されており、昇降できない場合

- ・「rSE」と表示されている場合は、前頁のリセット操作を行ってください。
- ・「E01」と表示されている場合は、デスクを18分以上休ませてください。
- ・「E02」と表示されている場合は、電源をすぐに抜き、本体が加熱されていないか、発熱していないか確認してください。確認後も18分以上昇降させないでください。
- ・その他のエラーコードが表示された場合や、ボタンが反応しない場合は、接続ケーブルに損傷や緩みがないか確認してください。ケーブルに問題がない場合は電源コンセントを一度抜き、10秒以上待ってから再度接続してください。電源接続後にディスプレイがリセット待機状態（例：「5-」のような表示）になった場合は、下降ボタンを長押ししてリセット操作を行ってください。

※上記方法にて解決できない場合や症状が当てはまらない場合は、弊社カスタマーサポートまでお問い合わせください。